



2023年5月12日

各位

会社名 ヒロセ通商株式会社
代表者名 代表取締役社長 野市 裕作
(コード番号：7185 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 管理部長 美濃出 真吾
(TEL. 06-6534-0708)

2023年3月期 通期連結業績及び個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の連結業績及び個別業績におきまして、前期実績との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期連結業績と前期実績との差異

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
前期実績(A) (2022年3月期)	8,722	2,706	2,703	1,840
当期実績(B) (2023年3月期)	10,318	3,586	3,585	2,407
増減額(B-A)	1,595	879	881	567
増減率(%)	18.3%	32.5%	32.6%	30.8%

2. 2023年3月期個別業績と前期実績との差異

(単位：百万円)

	営業収益	経常利益	当期純利益
前期実績(A) (2022年3月期)	7,779	2,482	1,680
当期実績(B) (2023年3月期)	8,885	3,089	1,844
増減額(B-A)	1,106	606	163
増減率(%)	14.2%	24.4%	9.8%

3. 差異の理由

当社グループの関連する金融商品取引市場におきましては、日米の金融政策の方向性の違いによる金利差拡大から円安が続き、2022年10月には1ドル=151円台と32年ぶりの円安・ドル高になりましたが、FRBの利上げペース減速や日銀の金融政策修正、米銀行の経営破綻やクレディ・スイスの経営危機による金融システム不安などから円高が進行し、132円台後半で期末を迎えました。

この様な状況の中、当社グループは、2022年4月より「LION FX」において新たに人民元/円の取扱いを開始し、通貨ペアを51種類に増やしました。また、スマートフォンの小さい画面でも高度なチャート分析ができるよう、「LIONチャートPlus+」のバージョンアップや、アプリのインストールが不要なブラウザタイプの取引ツール「LION Web」の機能を向上、反対売買時の決済順序に「pip損益順」を各取引ツールに追加、待機中の注文をチャート上に表示する機能を追加するなど、より顧客の要望に即した取引環境の拡大・改善に取り組みました。加えて、円安の影響による取引機会の増加を見込み、これまでにバージョンアップを行ってきたアプリの便利機能の紹介や初心者向けサポート機能の紹介など、メールやSNSなどで積極的に発信しました。また、大阪市内の主要駅であるOsaka Metro御堂筋線の梅田駅、なんば駅に看板広告を設置し、新規顧客の獲得にも努めました。

上記のような取り組みを行った結果、連結・個別ともに年間の外国為替取引高が過去最高の水準となり、増収増益となりました。

以上